

障害者就労支援センターかしの木園についての意見集約票

①論点	②市として確認したい事項	③カテゴリ	④ご意見または、会議で確認したい事項等
<p>市立障害者施設として担うべき役割について</p>	<p>市立障害者施設として、今後、かしの木園が担うべき役割(サービス)について何が考えられますか。また、どういったことに期待しますか。</p>	<p>サービスに関連すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●部屋が多く、空間の使い方が多様であるというメリットから、障がい種別を問わず特性に応じた就労支援を継続して提供することを期待します。 ●「障害者就労支援センター」として、もっと一般就労に向けた動きをして頂く方が良いと思います。現状を見るとB型事業所の工賃アップへの取り組みの発信が目立っている様に映ります。「福祉的就労」ということに注力するのならば、共同受注という形で内職作業を請け負うだけにとどまらず、施設外就労を市内複数の事業所で運営するなど色々な形を模索する方が良いと思います。ただし、「かしの木園」で行うと、「福祉的就労」の取り組みが中心となり、現状の様に「一般就労」の取り組みができないという可能性が高いと予測されます。
	<p>現在、かしの木園の機能は、障害者、障害関係団体等のニーズ等に合致していますか(指定管理料に見合う内容かも含めて)。</p>	<p>サービス内容以外のこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●市の施設として就労支援を行いつつ、市内の就労支援の中心的な役割を果たすべきだと思う。様々な就労支援に関する事例が集められたり、市民と就労に関してつながりをつくる役割も期待したい。ソーシャルファームや労働協同組合など様々な取り組み事例も集めて、研修会など行う。 ●一般的な意見として、市立の施設は利用者のニーズを的確に把握し、最大公約数に対応すべきだと思います。また、時代の変化に対応する柔軟性を持つことが重要であると思っています。 ●就労支援B型としてのサービスも必要だと思いますが、就労支援全体の調整や障害者の就労を促進するための活動の中心的な役割を期待します。 ●今後も中立的な立場で事業所間のネットワークの構築や各事業所からの相談に対する助言などの対応をしていただける役割を担っていただけることに期待します。
		<p>サービスに関連すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ニーズに合致はしていると思う。就労支援や就労継続などで市民と繋がっていくような取り組みも今後は必要かと思われる。 ●市立のB型事業所で他の市内事業所と比べるとハード面に恵まれ、その理を活かして行動障害が強い方などの受け入れが来ているところは良いのかも知れません。「障害者就労支援センター」としては、「一般就労」への取り組みがなく、求められる機能を果たせていない面があると思います。そこは市として「就労」の概念整理をし、「福祉的就労」と「一般就労」のどちらを「かしの木園」に求めるのか明確にする方が良いのではと考えます。
	<p>サービス内容以外のこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●工賃の維持・向上に向けた取り組みをさらに実施することが望ましいと考えます。 ●民間では、難しい方の受け入れもされていると思うが、実際にどのような方を受け入れておられるのか可能な範囲で教えてほしい。 	
<p>「障害者就労」としての役割について</p>	<p>就労継続支援事業所が市内に充足してきている状況下において、「市立障害者就労支援センター」の役割等についてご意見ください。(現在の事業に付加機能を付ける。B型事業以外が求められる。など)</p>	<p>サービスに関連すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●重度な障害をもたれた人への就労支援や継続が実践できる場所あるいは、その取り組みを様々な事業所や市民に伝える役割。 ●B型として継続する上で、特徴的な取り組みは必要である。例えば、障がい者にとっての多様な働き方のモデルとなること(ソーシャルファーム等)や、就労における基幹的な役割(ハローワーク、労働局、市の労働部局と福祉関係機関とのつながり等)が検討できると考える。また、生活困窮や若者、高齢者の雇用支援と連携した取り組みも期待したい。 ●かしの木園には一般就労を念頭に置いたサービス提供や就労相談の充実などの機能を充足して欲しいと思います。就労相談においては、障害者就業・生活支援センターと連携した仕組みの構築を考えても良いのではないかと思います。障害福祉サービスで示すならば、就労移行支援、就労定着支援、ジョブコーチ支援(障害者職業センター事業)、就労継続B型支援における就労準備性を高める訓練の実施(ITスキルの向上など)が考えられます。就労については、多様な事業所が数多ある中で異彩を放つようなことは難しく、市立だからこそできることを模索していただきたいと思います。
		<p>サービス内容以外のこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●障害者雇用に向けて市民への啓発や就労支援の指導的役割を持つことが必要だと思う。 ●市立のB型事業所から現在の指定管理に移行したのを機に「障害者就労支援センター」という名称が新たについたと記憶しています。市立B型事業所という事から行動障害の強い方などを受け入れておられますが市内にB型事業所が増える中、そのような役割を他の事業所が担えるようになることが良いと考えます。 ●就労支援B型としてのサービスも必要だと思いますが、就労支援全体の調整や障害者の就労を促進するための活動の中心的な役割を期待します。 ●実際に就労移行へ結びつくのが難しい方もいらっしゃると思います。そういった方の就労意欲にも応えられるような就労の場の提供に期待します。